

# 令和3年度 社会福祉法人希望の家 事業報告書

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

## 法人の運営状況

### 1 理事会の開催

理事会名・開催日	理事	監事	議題
第250回理事会 令和3年6月3日 倉吉市文化活動センター	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長及び施設の業務報告</li> <li>・令和2年度事業報告</li> <li>・令和2年度決算報告及び監査報告</li> <li>・令和3年度第1回補正予算</li> <li>・役員候補者及び評議員候補者の推薦</li> <li>・定時評議員会の招集事項 (報告事項)</li> <li>・新型コロナウイルスのワクチン接種</li> <li>・令和2年度社会福祉充実残額の算定結果</li> </ul>
第251回 令和3年6月23日 倉吉福祉センター	出席 6 欠席 1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望の家理事長の選定</li> <li>・評議員選任・解任委員及び第三者委員の選任 (報告事項)</li> <li>・評議員選任・解任委員会の報告</li> <li>・希望の家給与規程人事考課細則</li> <li>・長期計画検討委員会(仮)の立上げ</li> </ul>
第252回 令和3年9月14日 倉吉福祉センター	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設業務報告</li> <li>・パートタイム職員就業規則の一部改正</li> <li>・令和3年度の主な工事の契約 (報告事項)</li> <li>・虐待防止委員会の報告及びその後の経過</li> </ul>
*理事会終了後 長期計画検討委員会を開催			
第253回 令和3年12月16日 希望の家	出席 6 欠席 1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設業務報告</li> <li>・令和3年度第2回補正予算</li> <li>・評議員会の招集事項 (報告事項)</li> <li>・希望の家中長期計画案について</li> </ul>
第254回 令和4年3月4日 倉吉交流プラザ	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設業務報告</li> <li>・育児休業等に関する規則の一部改正</li> <li>・介護休業等に関する規則の一部改正 (協議事項)</li> <li>・令和4年度予算の主な事業他</li> </ul>
第255回 令和4年3月15日 倉吉交流プラザ	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の業務報告</li> <li>・給与規程の一部改正</li> <li>・令和3年度第3回補正予算</li> <li>・令和4年度事業計画及び予算</li> <li>・第三者委員並びに主幹の選任</li> <li>・評議員会の招集事項 (協議事項)</li> <li>・事業継続計画(BCP)に向けた取組み</li> </ul>

### 2 監査の実施

実施者	監査内容・実施日	指摘及び報告事項
法人内部監査 (希望の家監事)	令和2年度事業及び決算 令和3年5月28日	なし
実地指導 (中部総合事務所県民福祉 局共生社会推進課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若竹の家(施設入所支援、生活介護、短期入所)</li> <li>・つつじ作業所(就労継続支援B型) 令和3年11月30日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若竹の家: 文書指摘事項なし</li> <li>・つつじ: 文書指摘事項あり(令和4年1月改善報告書提出)</li> </ul>

### 3 評議員会の開催

評議員会名・開催日	評議員	監事	議 題
第44回（定時評議員会） 令和3年6月18日 倉吉福祉センター	出席 6 欠席 2	2	・令和2年度事業報告 ・令和2年度決算報告及び監査報告 ・令和3年度第1回補正予算 ・希望の家役員の選任（令和3年度から2年間） （報告事項） ・新型コロナウイルスのワクチン接種 ・令和2年度社会福祉充実残額の算定結果 ・評議員選任・解任委員会の報告
第45回（書面決議） 令和4年1月3日	出席 8	2	・令和3年度第2回補正予算
第46回 令和4年3月24日 倉吉交流プラザ	出席 8	出席 1 欠席 1	・令和3年度第3回補正予算 ・令和4年度事業計画及び予算

### 4 評議員選任・解任委員会の開催

委員会名・開催日	委員	議 題
第1回評議員選任・解任委員会 令和3年6月18日 倉吉福祉センター	出席 4	・評議員の選任について（令和3年度から4年間）

### 各事業の報告

\* 1～4までは別紙各事業報告書参照

- 1 障害者支援施設 希望の家（短期入所事業及び日中一時支援事業含む）
- 2 障害者支援施設 若竹の家（短期入所事業含む）
- 3 就労継続支援B型事業所 つつじ作業所
- 4 共同生活援助事業所 グループホーム希望の家（短期入所事業含む）

### 運営管理の状況

#### 1 各利用率他

サービス区分	令和3年度	令和2年度
	実績	実績
施設入所支援（希望の家）	96.3%	97.7%
生活介護（＃）	90.6%	91.0%
短期入所延べ利用日数（＃）	0	0
日中一時延べ利用日数（＃）	1日（1人）	5日（1人）
施設入所支援（若竹の家）	96.5%	95.3%
生活介護（＃）	98.8%	97.2%
短期入所延べ利用日数（＃）	195日（2人）	221日（3人）
就労継続B型（つつじ作業所）	53.5%	57.6%
共同生活援助（グループホーム）	92.9%	87.3%
短期入所延べ利用日数（＃）	2日（1人）	2日（1人）

#### 2 地域との関わり

項 目	内 容	回 数
実習受け入れ	・鳥取短大施設実習 ・倉吉養護学校現場実習 ・皆成学園利用体験支援事業	中止 16回（6月,9月～12月） 8回（5月～6月,10月～12月）
地域との交流	・希望太鼓出演（あいサポートフェスタ） ・第17回きぼうまつり（内部のみ） ・近隣神社の清掃活動 ・明倫地区作品展出品 ・あいサポート関係作品出品 ・市部落解放文化祭作品出品	1回（12月） （11月） 2回（10月,12月） 1回（11月） 1回（12月） 1回（2月）
ボランティアの受け入れ	・ふたば会（裁縫） ・桃源歌謡クラブ（歌） ・倉吉信用金庫（清掃）	いずれも休止

公益的取り組み	・市社協との連携 特別会員加入継続 / 引っ越し手伝い等(休止) ・社福法人和との連携 子ども食堂手伝い(休止)
---------	---

### 3 福祉サービスの向上

福祉サービスの向上のための取り組みとして、今年度初めて第三者評価を受審。サービス評価委員会で準備を進める。評価結果については十分に協議し、指摘のあった部分は改善し、今後のサービスの質の向上に繋げる。

対象施設	評価機関	受審期間
希望の家・若竹の家	特定非営利活動法人未来	令和3年7月1日～12月8日

### 4 感染症対応

新型コロナウイルス感染症への対応については、対策本部でほぼ月1回のペースで協議。「外から入れない、持ち込まないこと」を念頭に置き、感染予防対策を実施。11月には県による現地指導で、施設で感染者が発生した場合の対応策の助言を受ける。12月下旬から新たな変異株が徐々に増え始め、1月には急拡大し、日本国内が第6波の流行期に入った。感染リスク軽減のため、3回目のワクチン接種は2～3月に2グループに分け実施（一部の利用者は4月以降に予定）。その後も基本的な予防対策を継続。

### 5 防災管理

#### 1) 各種訓練等の実施

各種訓練等	実施月・回数等
消防設備点検	2回（5月、10月）
消火訓練	1回（11月）
非常通報訓練	2回（10月、3月）
避難訓練（施設）	2回（12月、3月）
避難訓練（グループホーム）	各1回（6月）
救命講習	1回（11月）

#### 2) グループホームの災害対応等について

災害名	月日	対応等
大雨警報（土砂災害）	7月7日～7月9日	3ホームとも本体施設に避難
大雨警報（土砂災害）	8月13日～8月15日	3ホームとも本体施設に避難

### 6 職員研修

目標	・施設内研修及び外部研修による職員の育成
施設内研修	・重要な研修（虐待防止、感染症対策など）については、全職員に周知するため数回に分けて実施や周知
施設外研修	・法令遵守、専門性向上、階層別、資格取得等に職員構成、配置、経験等を見ながら派遣、参加（オンラインでの受講中心） ・強度行動障がい支援者養成基礎研修に6名、実践・専門研修に4名参加

#### （その他）各種受賞者

- ・鳥取県社協会長表彰 1名受賞
- ・鳥取県手をつなぐ育成会会長表彰 3名受賞
- ・倉吉市社協会長表彰 1名受賞

### 7 主な施設整備・修繕等の実績

名称	執行額（千円）	備考
G Hたきがわトイレ改修工事	5,280	
若竹の家屋上防水塗装工事	3,520	
大型洗濯機・乾燥機設置	2,971	
希望の家洗濯場改修工事	653	

年間行事の実施状況（別紙参照）

## 指定障害者支援施設 希望の家 事業報告

令和4年3月31日

1. 所在地 倉吉市みどり町3576番地1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

### 3. 設立経過

昭和33年10月1日に生活保護法による「更生施設（定員30名）」として事業を開始。その後、昭和35年4月に「（旧）精神薄弱者福祉法」施行と同時に全国で2番目の「援護施設」として認可を受ける。平成20年10月には創立五十周年の式典を行なう。

平成23年10月1日に「障害者自立支援法」（現在、障害者総合支援法）による新体系に移行し、障害者支援施設 希望の家となる。

### 4. 運営方針

- (1) 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な指導及び訓練を適切に行なう。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設障害福祉サービスを提供するように努める。
- (3) できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行ない、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行なう者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (4) 「鳥取県障害者支援施設に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

### 5. 利用者定員他

- (1) 施設入所定員 38名  
現員 35名（男性 17名 女性 18名）  
女性利用者3名死亡（9月、12月、2月）
- (2) 生活介護定員 40名  
現員 34名（男性 16名 女性 18名）
- (3) 平均年齢（施設入所）  
59.3歳（男性 56.1歳 女性 62.3歳）
- (4) 平均障害支援区分 4.9

## 6. 職員組織

35名(所長、次長各1名、サービス管理責任者1名、栄養士1名、看護師4名、事務員3名、調理員5名、生活支援員19名(内、育児休1名):兼務有)

## 7. 短期入所

空床型。今年度の利用は無かった。

## 8. 日中一時

(1) 定員 4名

(2) 利用状況

6月に1名の利用があり、延べ利用日数は1日だった。

## 9. 支援の概要

(1) 生活介護(日中の支援)

障害や年齢・適性・希望等を配慮しながら、農業班、加工班、きらく班、清和班の4つのグループの中で創作活動や生産的活動の機会を提供した。

日常生活に必要な訓練並びに情緒の安定と身辺の自立を図ることに重点を置いた支援等を行なった。また、外出や買物等、地域生活を意識した支援に努めた。

利用者の教養・娯楽については、自治会や施設主催の各種行事や喫茶等の余暇支援を通して行なった。

しかし、新型コロナウイルス感染予防のため、外出や行事等の機会を制限せざるを得なかったことが多く、施設内でもできるだけ楽しめる工夫等を行なった。

(2) 施設入所支援(夜間、休日等の支援)

安心・安全な暮らしを送ることが出来るように、支援体制の見直しや支援方法を工夫した。

(3) 個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度保護者等に説明し、同意をいただいた。

(4) 保健給食

ア 保健

利用者の障害の重度化・多様化、高齢化に対応するため、疾病予防、健康の維持・管理に努めた。また、総合健診をはじめ、各種検診等を実施し、疾病の早期発見・予防に努めた。

昨年度に引き続き、今年度も特に新型コロナウイルス感染症の流行に対して、予防を徹底した。

イ 給食

栄養管理と利用者個々の身体状況に配慮した食事 - ソフト食、ゼリー食、ミキサー食等を提供した。

(5) 衛生管理

毎日朝夕 2 回の清掃・消毒、定期的な大掃除等によって施設内外を清潔に保ち、利用者の入浴、清拭支援等、個々の利用者に応じた支援を行なった。

( 6 ) 苦情解決・虐待防止

上記のための委員会にて、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修（オンラインを含む）等に積極的に参加した。

虐待の芽を早い段階で抑えるための取り組みを強化した。週に 1 回、職員倫理綱領の読み合わせ、また月に一回、セルフチェックを実施した。

( 7 ) 施設設備

利用者の洗濯について、高齢化等が進み自ら洗濯することができない人の割合が多くなり、業務用洗濯機及び業務用乾燥機の使用頻度はかなり高くなってきた。加えて、業務用洗濯機については修理が必要になっても部品の在庫は無くなるとのことで、新たに業務用洗濯機及び業務用乾燥機を購入した。

それに伴い、それらを設置するため、洗濯場の改修工事も行った。

# 指定障害者支援施設 若竹の家 事業報告

令和4年3月31日

1. 所在地 倉吉市みどり町3576番地1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

## 3. 設立経過

平成9年4月、更生施設「希望の家」から分離・独立し、授産施設「若竹の家」として定員30名で出発。平成17年10月のグループホーム立ち上げに伴い、「通所部」を併設。平成23年10月1日に「障害者自立支援法」(現在、障害者総合支援法)による新体系に移行し、障害者支援施設 若竹の家となる。

## 4. 運営方針

- (1) 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な指導及び訓練を適切に行なう。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設障害福祉サービスを提供するように努める。
- (3) できる限り居宅に近い環境の中で、地域やご家族との結びつきを重視した運営を行ない、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行なう者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (4) 「鳥取県障害者支援施設に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

## 5. 利用者定員

- (1) 施設入所定員 26名  
現員 25名(男性 18名 女性 7名)  
1月 女性利用者1名退所(他サービス利用)
- (2) 生活介護定員 30名  
現員 32名(男性 21名 女性 11名)
- (3) 平均年齢(施設入所) 57.8歳(男性 57.6歳 女性 58.4歳)
- (4) 平均障害支援区分 3.9

## 6. 職員組織

26名(所長、次長、サービス管理責任者、栄養士各1名、看護師4名、事務員3名、調理員5名、生活支援員10名:兼務有)

## 7. 短期入所

- (1) 併設型(2名)及び空床型
- (2) 利用状況

2名(男性1名、女性1名)の利用で、延べ利用日数は195日でした。

## 8. 支援の概要

新型コロナウイルス感染予防の対策を講じながら、支援や取り組みを行なった。

### (1) 生活介護（日中の支援）

障害や年齢・適性・希望等を配慮しながら、農業班、受託加工班、スマイル班、オアシス班の4つの活動班の中で生産活動や創作的活動の機会を提供した。また、近隣の神社清掃を年数回実施し地域への奉仕活動も行なった。

### (2) 施設入所支援（夜間、休日の支援）

日常生活に必要な訓練並びに情緒の安定と身の自立を図ることに重点を置いた支援を行った。また、社会性の拡大・余暇活動等の取り組みも実施した。

### (3) 個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度保護者等に説明し、同意を頂いた。

### (4) 保健給食

#### ア 保健

利用者の障害の重度化・多様化、高齢化に対応するため、疾病予防、健康の維持・管理に努めた。

新型コロナウイルス、インフルエンザおよび感染性胃腸炎については、罹患者はありませんでした。

#### イ 給食

栄養と利用者個々の身体状況に配慮した食事や、ソフト食、ゼリー食、糖尿病食等の介護食、単位食を必要に応じ提供した。

### (5) 衛生管理

毎日朝夕2回の清掃・消毒、定期的な大掃除等によって施設内外を清潔に保ち、利用者の入浴支援も毎日行なった。

### (6) 苦情解決・虐待防止

委員会を設置し、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修等に積極的に参加した。

### (7) 施設設備

エアコンの取り換え、屋上防水塗装工事等、環境設備の改善に努めた。

# 障害福祉サービス事業所 つつじ作業所 事業報告

令和4年3月31日現在

1. 所在地 倉吉市みどり町3576番地1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

## 3. 設置経過

平成23年10月1日に「障害者自立支援法」(現在、障害者総合支援法)による新体系に移行し、障害福祉サービス事業所 つつじ作業所を設立する。

## 4. 運営方針

- (1) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、障害者自立支援法施行規則第22条第1項に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動その他の活動の機会を提供する事を通じて知識及び能力のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また一般就労に必要な知識・能力が高まった者は一般就労への移行に向けて支援をする。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って就労継続支援(B型)を提供するように努める。
- (3) 出来る限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (4) 「鳥取県障害福祉サービス事業に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

## 5. 利用者定員他

- (1) 定員 20名  
現員 18名(男性 14名 女性 4名)
- (2) 平均年齢 56.6歳
- (3) 平均障害支援区分 3.0

6. 職員組織 8名(所長、次長、サービス管理責任者、事務員各1名、  
職業指導員2名、生活支援員、目標工賃達成指導員各1名)

## 7. 支援の概要

### (1) 報酬について

今年度の基本報酬は、昨年度の平均工賃月額約26,900円に応じて643単位となる。

### (2) 就労支援

今年度の作業種・内容は、昨年度と同様に施設外就労と施設内作業の2本立てで、前者はワークスクラよしでのペットフードの袋詰め作業、後者は石田紙器(株)

の紙箱折り、(有)ドアーズのペットフード切り作業、(株)トンボ倉吉工房の封入作業、(有)サンパックのタグ通し、シール貼り作業、施設利用者の洗濯物配布を請け負う洗濯業務を中心として取組んだ。

その結果、今年度の就労支援事業収益は約 4,180 (千円)で、前年度比は 99% となり、利用者へ支払う平均工賃月額額は約 28,200 円と、ほぼ昨年並みを維持できた。

### (3) 保健給食

#### ア 保健

毎朝、担当職員が健康チェックを実施し、必要に応じて医務と連携。日中活動の中でも健康面・安全面を重視した。

#### イ 給食

希望された利用者には、栄養管理されたバラエティーに富んだ食事を提供した。

### (4) 衛生管理

毎日朝夕 2 回の清掃・消毒等によって作業場、施設内外を清潔に務めた。

### (5) 個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に 2 回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度本人、保護者等に説明し、同意を頂いた。

### (6) 苦情解決・虐待防止

上記のための委員会にて、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修(オンラインを含む)等に積極的に参加した。

虐待の芽を早い段階で抑えるための取り組みを強化した。週に 1 回、職員倫理綱領の読み合わせ、また月に一回、セルフチェックを実施した。

# 共同生活援助事業所 グループホーム希望の家 事業報告

令和4年3月31日現在

1. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

## 2. 各グループホームの名称及び所在地

(1) グループホーム たきがわ

住所 倉吉市関金町関金宿 1448 8

開設日 平成21年4月7日

(2) グループホーム せきがね

住所 倉吉市関金町関金宿 1448 8

開設日 平成21年4月7日

(3) グループホーム みどり

住所 倉吉市みどり町 3184 2

開設日 平成31年4月1日

## 3. 設立経過

平成17年10月に地域生活援助事業所グループホームみどり(男性4名)として開設。平成18年10月にグループホームいわき(女性2名)も開設(平成21年3月まで)し、共同生活援助事業所グループホーム希望の家として事業運営。平成21年4月たきがわ、せきがね両ホームの新規開設に伴い、一体型共同生活援助事業所 グループホーム希望の家とする。平成26年4月法改正に伴い、グループホーム希望の家に名称変更する。

グループホームみどりについては、平成28年10月21日の鳥取県中部地震により被災した為、事業を廃止したが、平成31年4月住所を移し新規に事業を開始した。

## 4. 運営方針

(1) 利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活を営むことができるよう、利用者の心身その他の状況及びその置かれている環境に応じて、共同生活住居において食事の提供、相談その他日常生活上の援助を適切に行なう。

(2) 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

## 5. 利用定員他

(1) グループホーム たきがわ 6名(男性) 現員6名  
3月 1名増

(2) グループホーム せきがね 6名(男性) 現員6名

(3) グループホーム みどり 5名(女性) 現員5名

(4) 平均年齢 61.7歳(男性 62.7歳 女性 59.2歳)

(5) 平均支援区分 3.1

## 6. 職員配置及び支援体制

- (1) 職員数 17名(所長、次長、サービス管理責任者2名、看護師2名、生活支援員1名、生活支援員兼世話人6名、夜間世話人4名:兼務有)
- (2) 支援体制 世話人6名で、3ホームをローテーションして勤務し、たきがわ・せきがねに1名、みどりに1名夜間世話人を配置。また、週1回看護師が訪問。

## 7. 短期入所

- (1) GH みどり 併設型(1名)
- (2) 利用状況  
1名の利用で、延べ利用は2日でした。

## 8. 利用体験支援事業

皆成学園実施事業に協力。  
たきがわ、みどりを利用し実施する。

## 9. 支援の概要

新型コロナウイルス感染予防の対策を講じながら、支援や取り組みを行った。

- (1) 利用者が、安心して楽しく生活できる支援、環境を整える。
- ア 世話人と連携を図りながら、個別のケースに対応する。
  - イ 世話人との連絡会を定期的に関き、利用者の理解を深め支援の質の向上を図る。
  - ウ 世話人研修(県主催)への参加。
  - エ 休日支援で買物等に対応。
  - オ 避難訓練、消防点検等、防災に関する取り組みを実施。
- (2) 地域住民、自治会等への理解と協力を求め、連携して支援できる体制を構築する。(地域の行事等への参加)
- (3) 利用者の健康、精神面の状態を把握し、それぞれの事業所と連携を図りながら対応する。
- |               |     |
|---------------|-----|
| 若竹の家(生活介護)利用  | 5名  |
| つつじ作業所(就労系)利用 | 11名 |
| 他事業所就労        | 1名  |

新型コロナウイルス、インフルエンザ及び感染性胃腸炎等の罹患者はありませんでした。

- (4) 土砂災害警戒区域指定による避難確保および対応を図る。
- (5) 個別支援計画  
利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、

必要に応じて見直しを行った。その都度本人、保護者等に説明し、同意を頂いた。

( 6 ) 苦情解決・虐待防止

委員会を設置し、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。関連する各種研修に積極的に参加した。

### 令和3年度 年間行事等実施状況

		行 事		理事会・研修会		防 災		健診・安全衛生		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
4月	5	新年度体制・居室移動	21	㊤知福協代議員会			12	コロナ対策会議			
	6	辞令交付	27	㊤県社会就労センター協議会総会			20	”			
	20	若竹の家職員会					26	衛生委員会(書面)			
	”	つつじ作業所職員会									
	23	希望の家職員会									
5月			20	税理士監査(~21日)	25	消防設備点検(~26日)	18	ワクチン接種 A			
			27	食品衛生責任者講習会			24	コロナ対策会議			
			28	法人内部監査			”	衛生委員会(書面)			
6月			1	㊤障害者福祉サービス従業者研修	14	GH みどり避難訓練	1	コロナ対策会議	23	貯水槽の清掃	
			3	250 理事会	15	防火管理講習会	4	ワクチン接種 B			
			15	GH 世話人連絡会			8	ワクチン接種 A			
			16	社会福祉法人経営連絡会	17	GH せきがね他避難訓練	21	衛生委員会			
			18	評議員選任・解任委員会			25	ワクチン接種 B			
			”	44 定時評議員会			30	コロナ対策会議			
			23	251 理事会							
7月	14	若・デイキャンプ	12	㊤相談支援従事者初任者研修	7	災害対策会議(大雨)	12	コロナ対策会議	29	後援会総会(書面)	
	28	希・きらく班前期慰労会	13	キャリアパス初任者研修			16	ワクチン接種 C			
	”	若・デイキャンプ	27	㊤社会福祉法人会計実務研修	7	各 GH 避難	18	コロナ対策会議			

		行 事	理事会・研修会		防 災	健診・安全衛生		その他	
	29	希・農業班前期慰労会				訓練 (~10日)	19 衛生委員会(書面) " 安全運転管理者研修 29 コロナ対策会議		
8月	30	希・加工班前期慰労会	11 虐待防止委員会 " ㊦障がい分野別基礎研修 24 キャリアパス中堅コース研修 26 ㊦強度行動障害支援者養成研修 27 ㊦労働局セミナー 31 GH世話人連絡会	9 災害対策会 議(台風) 13 災害対策会 議(大雨) 13 GH避難 (~15日)	6 ワクチン接種C 17 コロナ対策会議 24 衛生委員会(書面)	7 ㊦福祉の就職フェア (県社協) 23 ㊦福祉の就職フェア (定住機構)			
9月	7 " 15 16 22 " 25 29	若・農業班前期慰労会 若・オアシス班、通所グループ前期慰労会 若・スマイル班前期慰労会 若・加工班前期慰労会 若竹の家職員会 " つつじ作業所職員会 つつじ作業所前期慰労会 希望の家職員会	2 ㊦強度行動障害支援者養成研修 7 " 10 ㊦障害者就労支援職員研修会 14 252 理事会 " 長期計画検討委員会 16 ㊦中部自立支援協議会全体会 29 ㊦サービス管理責任者基礎研修	17 災害対策会 議(台風)	16 ㊦口腔ケア講習会 21 衛生委員会				
10月	1 12 22 30	創立記念日 希・旅行代替行事 希・旅行代替行事 中部地区スポーツ大会	5 ㊦障害者虐待防止等研修 13 ㊦福祉的就労と日中活動サービスの支援のあり方 " ㊦サービス管理責任者実践研修	13 消防設備点 検(~14日) 28 緊急連絡の 伝達訓練	4 総合健診 7 コロナ対策会議 18 衛生委員会	8 八幡神社清掃 5 簡易水道定期検査 14 特殊建物調査(~15日)			

		行 事	理事会・研修会	防 災	健診・安全衛生	その他
			15 ㊦日中活動部会全国大会 19 キャリアパス中堅職員研修 " ㊦メンタルヘルス研修会 21 ㊦強度行動障害支援者養成専門 研修 28 ㊦社会福祉法人会計実務研修Ⅱ 29 ㊦GH 世話人等研修会			27 第三者評価受審
11月	5 きぼうまつり(内部のみ) 10 中部地区スポーツ大会 12 若・旅行代替行事 16 若・旅行代替行事 18 希・旅行代替行事 26 若・旅行代替行事	4 ㊦強度行動障害支援者養成専門 研修 8 ㊦障害者虐待防止等研修 9 キャリアパス管理職員研修 10 苦情受付担当者等研修会 15 ㊦中四国就労協施設長研修会 16 ㊦GH 世話人等研修会 18 ㊦強度行動障害支援者養成専門 研修 " 労働セミナー 19 ㊦地域定着支援に係る関係機関 等連絡協議会 19 ㊦サービス管理責任者等更新研 修	8 消火訓練 24 救命講習	9 インフルエンザ予防 接種 15 衛生委員会 19 インフルエンザ予防 接種 24 救命講習会 29 コロナ対策現地指導	22 明倫地区作品展 30 実地指導(若竹の家、 つつじ作業所)	

		行 事	理事会・研修会		防 災	健診・安全衛生		その他								
12月	8	希・忘年会	2	㊦強度行動障害支援者養成専門 研修	15	避難訓練 (火災)	9	感染症及び救急対応 講習会(内部講習)	2	とっとり合同企業説 明会						
	10	つつじ・旅行代替行事														
	22	若・忘年会									6	㊦障害者虐待防止・権利擁護講座	23	口腔保健実態調査 コロナ対策会議	7	倉吉信用金庫 米の 寄贈
	24	餅つき									7	㊦県社会福祉施設経営者研修会				
	"	希・クリスマス会									14	㊦職場環境改善研修				
	28	仕事納め									15	言語聴覚士による現地講習会				
		16	253 理事会													
1月	4	仕事始め	3	45 評議委員会(書面)			5	婦人科検診(利用者)								
							6	コロナ対策会議								
							7	職員夜勤者健診								
							"	胃癌・大腸癌検診 (利用者)								
							11	内科検診								
							24	衛生委員会(書面)								
							26	コロナ対策会議								
2月	15	若竹の家職員会					7	ワクチン接種 A	10	貸切バス送迎業務委 託に係る随意契約の 公告						
	"	つつじ作業所職員会					21	衛生委員会(書面)								
	22	希望の家職員会														
3月	16	若・慰労会	4	254 理事会	18	避難訓練 (地震)	7	ワクチン接種 B	5	ハローワーク企業説 明会						
			15	255 理事会			28	28			コロナ対策会議					
			24	46 評議員会				緊急連絡の 伝達訓練			衛生委員会(書面)	18	GH 世話人連絡			